

平成23年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査） 小学校4年 算数 出題のねらい等

連番	大問	中問	領域及び学年	学習指導要領の内容	出題のねらい	観 点				主に「知識」に関する問題	主に「活用」に関する問題
						算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解		
①	1	(1)	数と計算 4年	A(5)イ 小数の加法	1／100の位の数と1／10の位の数の加法ができること。			○		○	
②		(2)	数と計算 4年	A(3)イ 2位数÷1位数の除法	2位数÷1位数のあまりのある除法ができること。			○		○	
③		(3)	数と計算 4年	A(4) 桁数の多い計算	3位数×3位数の乗法ができること。			○		○	
④	2	(1)	数と計算 4年	A(3)ウ 被除数，除数，商及び余りの間の関係	被除数，除数，商及び余りの間の関係を理解していること。				○	○	
⑤		(2)	数と計算 4年	A(1)ア 億，兆の数の表し方	大きな数の数系列を理解していること。				○	○	
⑥		(3)	数と計算 4年	A(1)ア 億，兆の数の表し方	十進位取り記数法によって表された数の正しい位取りを理解していること。				○	○	
⑦	3	(1)	量と測定 3年	B(1)ア 長さの単位の表し方	1／100の位の数で表された <i>km</i> の長さを， <i>m</i> 単位で表すことができること。			○		○	
⑧		(2)	数と計算 4年	A(5)イ 小数の減法	整数－1／100の位の小数で，正しい筆算ができること。			○		○	
⑨	4	(1)	量と測定 4年	B(2)イ 角の大きさ	1組の三角定規を重ねたときにできる角の大きさを求めることができること。				○	○	
⑩		(2)	量と測定 4年	B(2)イ 角の大きさ	三角定規を使って，角度の見当を付けることができること。			○			○
⑪		(3)	量と測定 4年	B(2)イ 角の大きさ	角の大きさをもとに，時計の目盛りに当てはめて時刻を考えることができること。		○				○
⑫	5		図形 3年	C(1)ア 正三角形をつくること	三辺の長さが等しくなるわけを考えることができること。		○				○
⑬	6	(1)	図形 3年	C(1)ウ コンパスの活用	コンパスを使って，長さを測り取ることができること。			○		○	
⑭		(2)	図形 3年	C(1)ア 正三角形の定義	隙間なく並べてできた図形から，大きさの違う正三角形を認めることができること。		○				○
⑮	7	(1)	数量関係 4年	D(1)ア 折れ線グラフのかき方	与えられた表を基に，変化の様子を折れ線グラフに表すことができること。			○		○	
⑯		(2)	数量関係 4年	D(1)ア 折れ線グラフの読み方	2つの折れ線グラフを比べて，その特徴を表すことができること。			○		○	
⑰		(3)	数量関係 3年 数量関係 4年	D(3)ア 棒グラフの読み方やかき方 D(4)イ 折れ線グラフの読み方とかき方	伴って変わる二つの数量の関係を表すとき，棒グラフと折れ線グラフの違いを考えて目的に応じて用いることができること。		○				○
⑱		(4)	数量関係 4年	D(4)イ 折れ線グラフの読み方とかき方	身のまわりのものから，折れ線グラフの特徴を生かして表せるものを見つけようとしていること。	○					○
⑲	8	(1)	数と計算 4年	A(3)イ 3位数÷1位数や2位数÷1位数の除法	「もとにする量」，「比べる量」から「倍」を求める場合についても除法を活用できることを考えることができること。		○				○
⑳		(2)	数と計算 4年	A(3)イ 3位数÷1位数や2位数÷1位数の除法	「もとにする量」，「比べる量」から「倍」を求める場合について，除法を活用できる問題を考えようとしていること。	○					○

※領域及び学年，学習指導要領の内容については，すべて新学習指導要領で記述しています。